

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE京都-新築（2015年版）|使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2015（v.1.0）

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	トラスガーデン京都四条 新築工事	階数	地上5F 地下1F
建設地	京都市下京区松原通新町東入中野之町171、173、173-1、175-2、175-7、175-9	構造	RC造
用途地域	準防火地域	平均居住人員	54 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年12月 予定	評価の実施日	2017年2月1日
敷地面積	726 m ²	作成者	大原 裕貴
建築面積	580 m ²	確認日	2017年2月24日
延床面積	2,984 m ²	確認者	嶋村 邦彦



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 3.1

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	採光の確保を積極的に行い、また空気環境の向上を図ることで利用者が快適に過ごせる様配慮した。	その他 特になし。
Q1 室内環境	全面的にF☆☆☆☆の建築材料を採用し、個室においては床面積の1/15以上の有効開口面積の自然換気性能によって空気質環境の向上に配慮している。	Q3 室外環境 (敷地内) 外壁の色調や形状に配慮し、また敷地内に緑化を施すことで良好な環境を形成している。
LR1 エネルギー	断熱性能に配慮し外皮熱負荷の抑制を図っている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出量の削減に配慮した。
Q2 サービス性能	ゆとりある個室の床面積や建物全体の壁長さ比率に余裕をもたせ、フレキシビリティ性の向上に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 節水コマ、自動水栓の使用に加え節水型便器を採用し節水に配慮した。 解体時に躯体と仕上材が容易に分別可能となっている。 (躯体+LGS+仕上)

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される